

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	関節リウマチ患者の中枢性感作症にシェーグレン症候群が及ぼす影響の検討		
1. 研究の目的と方法	関節リウマチの約 20%にシェーグレン症候群が合併すると報告されております。シェーグレン症候群では痛みや抑うつなど中枢性感作による症状の頻度が高いことが知られております。今回の研究ではシェーグレン症候群の合併が中枢性感作による症状に及ぼす影響を調べることを目的としています。 今回の研究は以前、東京慈恵会医科大学 リウマチ・膠原病内科で行った研究である「関節リウマチの痛みにおける中枢性感作の横断的研究」において質問票に回答してくださった方を対象としています。診療録の情報や質問票の情報を収集し、シェーグレン症候群の合併の有無で中枢性感作の頻度や特徴に差があるか検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029 年 6 月 2 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	「関節リウマチの痛みにおける中枢性感作の横断的研究」において質問票に回答してくださった関節リウマチ患者		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（サクソンテスト、ガムテスト、シルマーテスト、蛍光色素試験、血液検査、画像検査、病理検査結果）、合併症、治療内容、質問票結果	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータ、過去の先行研究（関節リウマチの痛みにおける中枢性感作の横断的研究）で取得されたデータを二次利用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座 リウマチ・ 膠原病内科
		氏名	野田 健太郎
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 内科学講座 リウマチ膠原病内科 大谷 一博	
	(4) 共同で研究 を実施する	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	施設とその 責任者	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2025 年 8 月以降～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 内科学講座 リウマチ・膠原病内科 研究責任者：講師 野田 健太郎（のだ けんたろう） 電話番号：03-3433-1111（内線 3292） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。